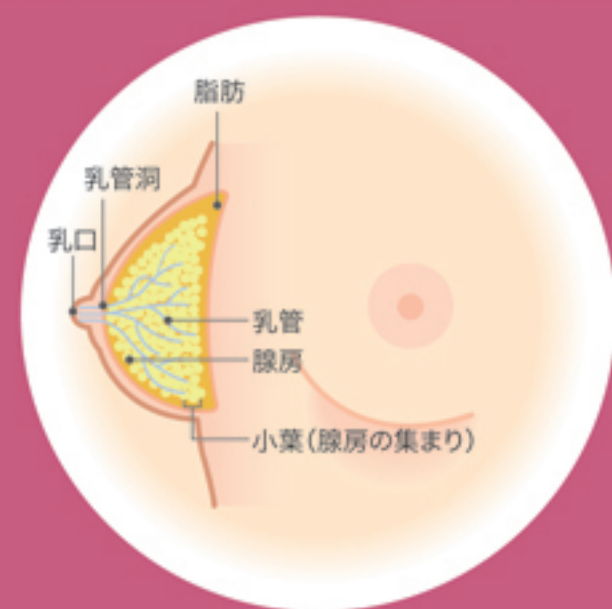


乳がん 検診



女性で最も多く、大阪では乳がんにかかる人が過去30年間で約5～6倍に急増しています！

早期で見つけるほど乳房を切り取らずに温存できます！

40歳以上の方は、2年に1回は検診を受けましょう！

一次検診 (スクリーニング検査)

問診

乳がんの家族歴や自覚症状などをおたずねします。

視触診

医師が乳房を見たり触ったりして、乳頭のひきつれやしこりの有無、リンパ節の状況などを調べます。

乳房X線撮影(マンモグラフィ)

乳房を片方ずつプラスチックの板で上下や左右からはさみ、撮影します。撮影中は乳房に少し圧迫痛を感じる場合があります。月経の一週間前を避けると痛みが少なくなります。



二次検診(精密検査)

乳房X線撮影(マンモグラフィ)の追加撮影

気になる部位をさらに詳しく撮影します。

乳房超音波検査(エコー検査)

乳房に超音波を当てて、乳房の断面をうつし、がんがないか調べます。検査による痛みはありません。

細胞診、組織診(生検)

疑わしい部分の細胞や組織を専用の針で採り、悪性の細胞や組織が混じっていないかを顕微鏡で調べます。

自己触診をしましょう！

- ① 乳がんは、唯一自分でも見つけれられるがんです。
- ② 日頃から自己検診でしこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭のただれなどがなければ調べましょう。

★異常がある時は、検診を待たずに乳腺外科・乳腺外来を受診しましょう！

マンモグラフィは、触ってもわからないごく小さながんも見つけることができます！



乳がん Q & A

Q 40歳未満は検診を受けなくていいですか？

A 30歳代については、現在のところ検診による死亡率減少効果などの研究結果がでていません。そのため乳がん検診の対象外とされました。しかし、若年者の乳がんも増えており、40歳未満の人も、自己触診を行い、しこりなどの症状があれば乳腺外科・乳腺外来のある医療機関で受診しましょう。

Q マンモグラフィによる検診に適さない人はいますか？

A 「授乳中の方」、「ペースメーカーを装着されている方」、「豊胸術を受けられた方」は乳腺外科・乳腺外来のある医療機関で検診をお受け下さい。